

広報

No354

カナダ

1998

7/1

号

か

か
ん
ど
う

な

な
か
よ
し

だ

だ
い
す
ぎ



チョットすてきなコンサート(紹介は4ページ)

ごあんない

- (P 2~7)まちのわだい
- (P 8~9)みんなのひろば
- (P10~13)こんにちは保健婦ですほか
- (P14~15)暮らしのインフォメーショ



福岡県金田町

まちのわだい my town TOPICS

あなたの身近な出来事、地区の話題など
どしどしお寄せください。お待ちしております。
連絡は、広報担当(☎22-0556)まで。

6月2日の金田小学校

交通安全教室



新一年生を対象に、田川署交通係の婦警3人による「人形劇」での、交通安全教室が行われました。

学校生活になれてきた新一年生に、「交差点で気をつけることは…」「信号機の色が黄色のときは…」など質問をしたところ、全員が手をあげて答えようとする場面もみられましたが、そこは婦警さん、一人ずつ答えてもらって「理解してほしい…」と、やさしい交通安全教室でした。

学校訪問

筑豊教育事務所所長(以下6人)と、金田町教育長(以下4人)による、小学校(午前中)、中学校(午後より)の学校訪問がありました。

授業参観をしたあとに、「平成10年度教育指導計画」に基づいた授業が、行われているかの話し合いが行われました。



小学校での授業の様子

ミニコンサート



日本フィルハーモニーの団員、チェロ(大石修さん)、バイオリン(三好明子さん)、ピアノ(多田直子さん)の3人による生演奏が、金田小学校体育館で、小学校4年～6年生までの児童の前で行われました。

単独の楽器で曲演奏や、3つの楽器をを合わせ奏でる「ピアノ三重奏」による曲演奏などが行われ、3、4校時は「音楽鑑賞」の時間となりました。

ほとんどの児童は、「生演奏で音楽を聞いたことがない」ということでしたが、心にどのような情景が浮かんできたのでしょうか。

「日本フィルハーモニー田川公演」が、10月28日、田川市文化センターで行われます。ご家族そろっての「生の音楽」を楽しまれてはいかがでしょうか。

役場って、どんなところ!!



小学校3年生社会科見学

金田小学校3年生児童全員が、5月26日、社会科の授業で、役場を訪れました。

日ごろ、役場の中に入ったことのない子供たちの目に、「役場ってなにをしているところだろうか?」と、興味があったようです。

自分たちの住んでいるこの町で、「今、なにが行われているのか?」「水道はどこからくるのか?」「税金ってなに?」「住民票でなにをするのか?」など、いろいろな疑問を、各課係で教えてもらい、勉強をしました。

これで緑をいっぱいにして



金田小学校みどりの募金活動

金田小学校福祉委員会の児童のみなさんが、6月8日～12日までの学校の5分休みに集めた、「みどりの募金14,721円」を、福祉委員の平島明子さん、佐藤舞さん、上田秀子さんの3人が代表して、役場へもってきました。

3人の代表のみなさんより、「私たちの集めたお金です。緑をふやしていくために役立ててください。」また、「私たちの募金によって、緑の少ない金田小学校が、少しずつ緑でいっぱいになっていけるようにお願いします。」など、たくさんの願いのこもったあいさつがありました。

小学校では、来年もこの運動を展開していき、「緑を大切にしていくこと」を、児童のころから体験し、みんな考えていく基礎をつくっていきたいということでした。

けっこうなお手前でした



金田保育園「お茶会」

金田保育園のさくら組園児28名が、6月15日園内にいる本堂茶室で、「お茶会」を行いました。

はじめての「お茶会」に参加した園児たちは、静かなお茶室に入ると、いつもと違った雰囲気部屋に緊張した様子でしたが、お茶のいただき方の説明を聞いたあと、とても甘いお茶うけ菓子を食べて、お茶をいただくと「きれいな緑色のお茶だけど、ちょっと味がちがうぞ!!」と、首をかしげていました。

このお茶会は、年に4回～5回行なっていく予定で、次回からは、園児たちによるお茶を運ぶ係や、お菓子をだして配る係など、今までに経験したことのない「伝統の日本文化」について肌でふれていく予定です。

ちょっとすてきなコンサート



周 曉丹さんによる演奏

国際理解教育「揚琴の演奏会」

福岡教育大学に通っている中国人の周 曉丹さんによる「揚琴の演奏会」が、金田小学校体育館で行われました。

周さんは、1986年に、中国民族音楽コンクールで1等賞を受賞。中国のテレビ・ラジオなどに多数演出されるほどの腕前で、地元中国へ戻ると揚琴の第一人者です。

この揚琴が奏でる音は、ピアノ、ギター、日本の琴などの音色が交じりあったような不思議な音がしますが、生演奏で聴かないと文章で伝えるのが大変困りました。

会場に集まった保護者のみなさんは、2回に分かれて行なわれた演奏に魅了されたのでしょうか、最後まで残って聴きっていました。

金田小学校の児童たちには、とてもすばらしい国際文化を知る教育が行われたことと思います。また、演奏のあとには、周さんに、中国についての質問をする時間が設けられ、日本と中国を知る、国際理解教育になりました。

このことが10年先、20年先の国際交流に、大きく花開くときが目に浮かんでくるようでした。

この感動をみなさん忘れずに!!



これが揚琴です

揚琴の紹介

台形の薄い木の箱に、多数の金属弦を張った楽器を、両手に持った細い竹の棒(鍵)で演奏する。

弦は演奏者の手前(低音)から、向こう(高音)にかけて約二十コース以上が張られる。各コースは、二〜五本の複弦になっている。弦の総数は、百六十本にもおよび、四オクターブの音域を持つ。

明代末期ごろから清代初期(十七世紀)に西洋から中国に伝来。主として器楽郷奏や、語り物の伴奏に使われる。日本にも江戸末期に伝わったが、ほどなく姿を消した。

第1回水上運動会



B&G海洋センター

B&G温水プールで、5月31日に、第1回水上大運動会が行なわれました。

町内外より、保育園児から大人まで38人の参加があり、赤、白、青、緑の4チームに分かれて「いかだ漕ぎバスケットボール」「いかだ渡り玉入競争」「神経衰弱」など、プール上で楽しい6つの競技を行ないました。

競技の途中、いかだより転落する人が出るなど、盛り上がりを見せる場面が見られ、泳げない人でも楽しめる「水上大運動会」となりました。

燃えた一日



1位の宝見チームのみなさん



繰り広げられる熱戦

婦人親善インディアカ大会

5月31日に、町民体育館で、金田町親善婦人インディアカ大会が行われました。

今年のインディアカ大会は、20才以上の女性のパートに統一され、16チーム108人の参加で、熱い戦いが繰り広げられました。

結果は次のとおりです。

- 1位 宝見チーム
- 2位 南木Aチーム
- 3位 4区チーム、南木Bチーム

また、4区チームは、チーム結成1週間で3位という大健闘をしました。

ふれあい塾だより



初めてのカヌー



バイオリンの夕べ



道に迷った山登り

4年生クラス入塾

金田小学校の4年生が、1クラスごとに2泊3日間の自然教室(宿泊体験学習)を、「ふれあい塾」で行ないました。

この自然教室は今年で4年目ですが、3日間家庭を離れて同じクラスの友達と、一緒にいろいろな体験活動をしました。

食事づくりや、風呂・部屋掃除、野外作業などの生活体験学習や、日王山ハイキングで、植物の観察をしながら地図を片手に日王山遊歩道を歩くウォークラリーや、古谷池で初めて体験するカヌー、ヨット、ローボートなどの水上レクリエーション活動を取り入れて行いました。

子どもたちは、初めて乗るカヌーにおどろきは隠せないようでしたが、馴れてくると上手に船をあやつれる子もふえてきました。

また、夜の食事のあとには「バイオリンの夕べ」が行なわれ、日王山のふもとの「ふれあい塾」に子どもたちの歌声と、バイオリンの音が響きわたりました。このバイオリンの夕べには、保護者の方の協力を得て行われました。

クラス入塾もだんだん定着し、多くのカリキュラムを取り入れて行なわれるようになり、保護者の方や、「支える会」のボランティア方たちによる協力を得て行なっています。また、今年10月には、赤池町の市場小学校自然教室が「ふれあい塾」を利用して行われます。

園芸ハウスオープン



高齢者生きがい農園(青葉会)

高齢者生きがい農園(青葉会)の、園芸ハウスが増設され5月27日に、オープンしました。

花づくりの枠が広がった「青葉会」では、「花づくりをとおして、生きがいを感じ、金田町を花でいっぱいにしていきたい」と、いうことでした。

また、「青葉会」では、花づくりで、いっしょに汗を流せる方を募集しています。「花づくりをしてみたい方」は、生きがい農園(金田駅西ロイイベント広場隣り、毎週水曜日)までお気軽にどうぞ!!

ご家庭で役立つ花の栽培

園芸教室

オープンしたばかりの、生きがい農園園芸ハウスで、5月27日に、「金田郵便局」と「青葉会」主催の園芸教室が行なわれました。

講師に、田川市の山倉ガーデン社長(山倉秀一)さんを招いて、「ご家庭で役立つ花の栽培」について、実演をしながらの、詳しい講習会となりました。

会場に集まった約50人の中から、「花づくりで困ったこと」や、「肥料のあたえ方」など、熱心な質問に、その対策方法を分かりやすく説明され、会場に集まった人々には、大好評でした。



広報担当→池田→上野→岩井

で、予算もないのでみんなで真似して行ったら「大ヒット」で、人の多いこと。それ以来「金田夜市」も有名になり、そこそこ人が集まるようになったという歴史があります。

商工会活動のなかで、地域を考えていたときに、学生時代からずっとこの地域に住み、活動されている犬養光博、素子夫婦に会い、キリスト教ということで自然になんにもはいれる二人に感心しました。

ごぶさたしていますが、犬養素子先生を紹介したいと思います。

今回は犬養素子さんにバトンタッチ



商工会活動が青春

金田町で暮らしても二十二年が過ぎました。ふり返りますと、商工会での活動で大半が終わった感じがします。「アイ・ラブ・金田フェスタ」という名前前で、今は役場の方に協力していただき、新町通りをにぎわわしているのですが、以前は「金田夜市」ということで商業団が始めたと思います。

人が集まらなくて、青年四〜五人でゲーム機を借りてきたり、スイカ割り、カラオケ、おばけ大会、投げ売りなど、いろいろと頑張ったんですけど、あまりかんばしなかった。

そこで、テレビで人気の電線音頭をやろうということ

あの人との出会いが

町内ペンション

紹介街

十四軒目

このコーナーは、町の商店を紹介して、知ってためになる暮らしのワンポイントや、お得なサービスを提供していただくコーナーです。

今月は人見の「読売ニュースセンター金田」さんを紹介します



●読売ニュースセンター金田のモットーは?

ニュースを幅広く楽しんでいただくことを第一に考えています。そのためのサポートとして、毎朝の確実な配達と、より多くの方への新聞のご案内に、全力でつとめたいと考えています。

●普段はどのような仕事を

一日の仕事は朝の3時から始まります。毎朝2時半から3時までに本社から新聞が届きます。それに前日用意していた広告を折り込み、できた端から配達にかかります。だいたい6時くらいには配達完了。それから8時までは、万一の不配に備えての電話番号です。

お昼まで仮眠と事務作業。昼から4時までは翌日の折込広告の準備と、未購読者への新聞のご案内(拡販)。4時から夕刊の配達と集金事務を行ない、これがだいたい8時くらいまで。

所長である母は、これに家事作業が加わるので、ほとんど一日中働いています。

●業界の流れは?

これほどテレビや雑誌、インターネットなどいろんなメディアが発達した現代でも、ありがたいことに新聞は多くの皆さんに主要メディアとして支持さ

れています。それだけに、現在のシステムをできるだけ守っていきたく思うのですが、一番のネックは配達スタッフの確保です。何しろ年に数日の新聞休刊日をのぞいてほぼ一年中、毎朝3時から仕事ですから大変です。

毎朝のニュースと折込広告を、たくさんの皆さんが楽しみにしておられることを励みに、何とか頑張っけてゆきたいと思っています。

●スタッフの横顔を紹介して。

所長以下私を含め12人。30〜40代を中心に上は70代のベテランまで、雨の日は新聞をビニール袋に入れ、雪の日はバイクにチェーンを巻き、毎日元気に朝の街を駆け回っています。

楽しみに待っていてくれる読者のためにはどんな苦勞もいとわないのですが、放し飼いの犬ちゃんに追い回されるのはちょっと困っています。

●知って得するワンポイントがありましたら。

ニュースセンターの仕事として新聞の配達と同時に新聞折込広告の受付があります。ほとんどの事業主さんは折込センターさんに依頼されてますが、直接配達センターに持ち込むこともできるのです。

センターが各紙ごとに分かれているので数ヶ所回らねばならないのですが、折込料が若干安いのと、折込前日の午後4時頃まで受け付けられるので、ご予算やスケジュールが厳しいときなどにご利用できるテクニックだと思います。



今回は宝見の「宝見自動車」さんをご紹介します。